

公立学校共済組合広島支部第3期データヘルス計画の概要

1 広島支部第3期データヘルス計画とは

広島支部の疾病構造を把握するため、平成29年度から令和3年度の医療費及び特定健康診査結果の分析を実施し、そのデータに基づき、効果的・効率的に組合員及び被扶養者の健康の保持増進を図るため、重点的に実施する保健事業の計画及び目標を設定しました。

【計画期間】 令和6年度～令和11年度（6年間）

【中間評価】 令和9年度（予定）

広島支部第3期データヘルス計画(全文)は、公立学校共済組合広島支部のホームページに掲載しています。

公立学校共済組合 広島支部 データヘルス計画

検索



2 広島支部の現状と対策

加入者の状況

- ・組合員は男性4割女性6割という構成であり、女性の占める割合が多い。
- ・組合員の平均年齢は男性44.4歳、女性42.9歳であり、年齢層としては35歳から49歳の中間層が少なく、50歳以上及び35歳未満が多くなっている。
- ・被扶養者は40歳以上について8割以上を女性が占めている。

生活習慣病の状況

【現状】

- ・生活習慣病の加入者一人当たりの医療費は、全体平均よりもわずかに高くなっている。
- ・疾病別の加入者一人当たりの医療費をみると、「高血圧性疾患」、「糖尿病」、「脂質異常症」の順で高くなっている。
- ・特定健診結果（40歳以上の健診）によると、全体に比べて、運動、食生活について良くない習慣の者が多い。

【対策】

- ・特定健康診査、特定保健指導及び生活習慣病予防健診（人間ドック）の実施や、加入者が健康づくりに向けた行動につなげられるよう、疾病の発症や重症化を防ぐための健康情報の提供や知識の普及啓発に努める。また、健診受診者のうち、特定健康診査項目の受診勧奨対象者に受診勧奨を行うことで、生活習慣病の早期対策につなげるとともに、健診の効果を検証する。

悪性新生物の状況

【現状】

- ・悪性新生物に係る加入者一人当たりの医療費は、全体平均よりも高くなっている。
- ・疾病別の加入者一人当たりの医療費をみると、「乳房の悪性新生物」、「子宮の悪性新生物」、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」の順で高くなっている。

【対策】

- ・悪性新生物の早期発見・早期治療を目的として、生活習慣病予防健診（人間ドック）及び器官別検診を継続実施する。また、がん検診の受診者のうち、要精密検査となった者に受診勧奨を行うことで、早期治療につなげるとともに、検診の効果を検証する。

精神の疾病の状況

【現状】

- ・加入者一人当たりの医療費は、全体平均よりも高くなっている。
- ・有病者率及び有病者一人当たりの医療費は、全体平均より高くなっている。

【対策】

- ・県・市町教育委員会と連携を取り、セルフケアを推進するための知識の普及啓発や専門的な相談窓口の設置など、各教育委員会が実施するメンタルヘルス対策の一角を担う取組を進める。

3 今後の保健事業の取組（令和6年度～令和11年度）

★：重点取組事業

特定健診等事業 （法定事業）

- ・特定健康診査の受診率の向上（被扶養者等への受診勧奨）★
- ・特定保健指導の実施率の向上（当日実施型、学校訪問型やICT（アプリ）の利用など受けやすい体制の整備、被扶養者等への利用勧奨）★

- ・生活習慣病予防健診（人間ドック）の実施
- ・器官別検診（レディース検診・大腸がん検診）の実施
- ・特定健康診査項目及び5大がん検診における受診勧奨対象者への受診勧奨（新規）★
- ・特定健康診査結果の個別情報提供

健康づくり事業



- ・コラボヘルスの推進（各事業主との協同）★
- ・若年層（40歳未満）への健康リテラシー向上及び健康づくり（新規）★
- ・メンタルヘルス対策事業の実施（メンタルヘルス相談、メンタルヘルス講演会、パンフレット配布）
- ・こころとからだのリフレッシュセミナーの開催
- ・健康づくり宣言の実施
- ・福利ひろしま、ホームページ等を活用した健康情報等の提供

※ 対象者の記載のない事業については、組合員（任意継続組合員を除く。）を対象としている。
 ※ 被扶養者等とは、被扶養者及び任意継続組合員をいう。

4 各事業の評価項目及び目標値の設定

重点的に取組むこととしている保健事業について、評価項目及び目標値を設定しました。

アウトプット指標	健康スコアリングレポート等の配布率	若年層の健診情報受領率	特定健康診査実施率	特定保健指導実施率	受診勧奨対象者の医療機関受診率	5大がん精密検査受診率
現状	-	-	85.8%	46.8%	51.2%	-
目標値	100%	100%	90%	60%	55%	90%
アウトカム指標	健康課題共有率	40歳の「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか」の質問に対する回答が「まだ開始していない」人の割合	内臓脂肪症候群該当者割合	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	判定結果が「異常なし」及び「軽度異常（要経過観察）」の者の割合	
現状	-	77%	13%	26.1%	53.4%	
目標値	100%	50%	10%	40%	60%	

※ 現状値は令和4年度の実績、目標値は令和11年度時点とする。

5 データヘルス計画の今後の取組

組合員等の健康情報に基づき、既存事業の効果を検証し、支部運営審議会において報告し、次年度の事業の改善を図るとともに、令和9年度に中間評価を行い、計画を見直していきます。

お問合せ先：公立学校共済組合広島支部 健康管理係
 〒730-8514 広島市中区基町9番42号 TEL 082-513-4956